

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	くらしの安心・安全の確保プロジェクト	実施期間	平成27年度～	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>いつ起こるか分からない地震や風水害等の災害や犯罪・交通事故等から住民の生命・財産を守ることは、行政の最大の責務の一つであり、被害を最小限にいとどめるためのハード面の各種基盤強化はもちろん、消防救急体制の充実や住民の防災・防犯意識の向上による自主的な防災活動の促進等に取り組む必要がある。</p> <p>特に、山間部に位置する本町は、急傾斜地等が多く存在するため、地すべり等の土砂災害対策も課題となっている。</p> <p>また、近年の道路整備の進捗等により町内の通過交通量が増加したため、生活道路等における交通安全対策も重要な課題となっている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>地震や風水害等の災害から住民を守る防災・減災対策のほか、交通安全・防犯対策など、住民の生命・財産を守る施策の充実を図る。</p> <p>具体的には、本町消防防災の要となる消防団の装備拡充を重点的に進めるほか、町内全地区で発足した自主防災組織への支援、交通事故を未然に防ぐ交通安全対策等を実施する。</p> <p>また、急傾斜地等の多い本町の地理的特徴を考慮し、土砂災害の危険性を軽減する事業にも取り組む。</p>						
	総事業費（千円）	18,391	本年度事業費（千円）	18,391	交付金額（千円）	6,239	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	災害時避難所物資整備事業	交付対象事業	災害時避難所への生活物資の備蓄や防災資機材の配備を行う。		○避難場所に備蓄食糧、備蓄用飲料水を補充 ・やすらぎ荘 備蓄食糧 500食 ・田原小学校 備蓄用飲料水 504本		
	曇り止めカーブミラー整備事業	交付対象事業	曇り止めと凍結防止機能を備えた防曇型カーブミラーへの更新を進め、交通事故防止を図る。		○防曇型カーブミラー更新工事 ・更新箇所：68箇所		
	消防資機材整備事業	交付対象事業	地域消防防災活動の要となる消防団の資機材を整備。		○各種消防資機材の整備を実施 ・トランシーバー、ヘッドライト、消防ホース、ホース格納箱 等		
	地域防災対策事業	関連事業	地域防災計画及び防災マップの改定を行うほか、本町に適した災害時情報伝達システムの検討を実施。		○宇治田原町情報伝達システム整備基本構想の策定 ○宇治田原町地域防災計画の改定 ○地区別ハザードマップの作成		
	消防団員装備拡充事業	関連事業	「消防団の装備の基準」等の改正に合わせ、新基準に適合した消防団員装備（活動服、安全靴）を整備。（地方創生先行型事業）		○国新基準を満たす消防団員活動服及び安全靴を整備。全消防団員（309名）への配備を行った。		
	林地内危険木防災対策事業	交付対象事業	土砂災害対策として山林等所有者が行う林地内危険木の撤去に対する補助を実施。		○危険木撤去件数 0件（27年度実績なし）		
	地域防犯推進事業	交付対象事業	地域防犯推進の拠点である「地域みまもりステーション」の整備等を実施。		○地域みまもりステーション外構工事 ○「宇治田原町地域防犯推進ネットワーク協議会」の開催 ○府民防犯旬間（7月10日～19日）にあわせた啓発活動等の実施 ○年末警戒パトロール及び啓発物品の配布		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	交通安全指導員配置事業	交付対象事業	通学路の交通安全を確保するため、横断歩道等に交通安全指導員を配置。	○通学路に交通安全指導員を配置し、児童生徒の交通事故を防止 ・配置場所：町内9箇所の交差点等
	自主防災組織支援事業	関連事業	自主防災組織に対する活動支援及び資機材の配備を行う。	○自主防災組織安心安全活動補助金 自主防災組織が行う防災訓練活動や資機材・物資整備など防災対策活動に補助金を交付 ・補助件数 10件
	消防団支援隊活動事業	関連事業	消防団OBで組織された消防団支援隊の活動に対する補助を実施。	○各地区の自主防災訓練・町総合防災訓練への参加 ○消防団支援隊活動経費補助金の支給 ○支援隊連絡会議の開催
成果指標①	成果指標の目標数値	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員数（本部役員除く）：283人維持（H27.4.1現在） ・火災発生件数：7件以下（H26年） 		成果指標の実績値（○年○月○日時点） ・消防団員数（本部役員除く）：283人（H28.4.1現在） ・火災発生件数：2件（H27年）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	全国的に消防団員数が減少する傾向にある中、団員確保対策の努力により、消防団員数は前年度と同数を維持することができた。また、消防団による啓発活動等の成果もあり、火災発生件数も大きく減少する結果となった
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	交通事故発生件数：45件以下（H26年）		成果指標の実績値（○年○月○日時点） 交通事故発生件数：32件（H27年）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	生活道路の改良や交通安全施設の整備、また定期的な啓発活動実施など、ハード、ソフト両面からの交通安全対策が功を奏し、交通事故発生件数を大きく減少させることができ、住民の安心安全の向上につながった。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	災害や火災、交通事故から住民の生命・財産を守ることは行政の重要な責務であり、町としてもハード整備及びソフト面の対策の両輪で安心・安全の実現に向けた取組を進めている。27年度は災害による大きな被害も発生しなかったほか、火災発生件数や交通事故件数も前年に比べ減少し、成果指標としては非常に良い結果が出たが、今後もこの成果を継続できるよう効果的な施策に取り組んでいく。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	国の地方創生交付金を活用した事業と府のみらい戦略一括交付金を活用した事業、町単独事業等とを組み合わせ、プロジェクトとして一体的に推進することで、住民を事故や災害から守り、安心して暮らすことができるまちづくりの実現に効果を挙げることができた。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	消防団員の確保・装備拡充のみならず、町内全地区にある自主防災組織や、消防団〇Bで結成する消防団支援隊の活動を推進することで、町全体で「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が非常に高くなっている。
	リーディング・モデル成果	消防団支援隊の取組や新基準に適合した消防団活動服の支給など、消防力の強化・充実に他市町に先駆けて取り組んでいる。
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	平成27年度は災害による被害もなく、火災発生件数や交通事故件数も前年に比べ減少するなど、住民の安心・安全面での成果があったところである。これも、これまでから着実に取り組んできた防災・交通安全対策等の効果が表れたものと考えている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。